



大和市長 大木 哲

園住宅地計画が進められ、格子上の街区ができた。それだけじゃない。美しく愛すべきまちを目指す人がいた。林間都市が分譲された当時の話です。作家の龍胆寺雄の転居通知状には「中央林間駅からコスモスの花を辿ってください」とあったというのです。いい話ですよ。

**大木** これまでの大和市の歴史とこれからのビジョンを語る上で、進士先生のように違った角度から語っていただくのもすごく面白いですね。まちの進化する過程を、普通の歴史的側面だけではなく、住民生活の舞台としてのまちづくりを視点にされたお話だったと思います。

**人口が増え続けるまち**

**大木** 昨年、大変うれし

ニューズが飛び込んできました。大和市の令和3年の人口増加数が、全国で8位になったというニューズです。正直なところ、私だけ驚いたのではないかと思います。全国には1,700を超える自治体があり、人口減少がこれからどうなるのか、これがどの自治体にも共通した今一番の課題です。また、そのような背景の元に、昨年発表された住宅地の基準地価において、県内の地価上昇率上位10地点のうち、2地点が大和市内でした。県内で人口密度が2番目に高い大和市は、ある程度完成し、成熟したまちです。それにもかかわらず、さらに人口が伸びているのはすごいことであり、子育て世代のかたが大和市に集まってきていることが一つの特徴です。

大和市は交通の良さで知られますが、鉄道網の利便性は昔からのことで、こ

こ数年で整備されたわけはありませんから、やはり子育て世代に対する大和市の政策が理解されたことが、人口増加の一つの要因ではないかと考えています。例えば、県内の人口10万人以上の市では唯一、7年連続保育所等待機児童数ゼロを達成したり、市立病院には小児科医師が10人以上そろって、365日24時間の小児の二次救急体制を整備していたりと。お父さん、お母さんから見れば「待機児童ゼロのまちがいいね」「子どもが夜間に病気がしつかりしていれば安心できるね」ということは非常に重要なポイントではないかと思えます。

**進士** 子育てしやすいまちということは、人口増加にとって一番大きいでしょうね。国としてもとても大事なことです。子育てしやすいまちというのは子どもの環境だけじゃない、お父さ

**緑とのふれあいが持つ意味**

に關するものでした。そんな進士先生からこのような言葉をいただけるのは、私もそうですが、大和市民のために頑張っている職員も大変うれしいと思います。

と研究者で、自治体学会で40数年活動してきて、最後は学会代表もしました。私の考えでは日本で今一番大事なのは自治体行政だと思います。当然、首長は根本ですから、まちって首長次第なんです。本気で市民ファースト、まちづくりファーストでやっているかどうかです。それぞれの地域の良さを伸ばし、新たな課題に立ち向かい、どんなまちに育てるか、当然首長の個性や見識を大いに出し

とに比重が置かれている。ところが、シリウスは革命的ですね。本気で市民活用を前提にしています。講演会や子どものフロアとか、健康第一のそれこそシニア世代のフロアとかで、多世代みんながエンジョイできています。ひと昔前に比べて格段の市民ファーストですよ。それで結論は、いまの指標というのは、今住んでいる人がずっと住み続けたいと思う、「やまとニューズ」にあったこのコピーなんです。住んでいてよかった、ずっと住みたいという永住意識ですね。

**大木** 大和駅から数分の所にあるやまと公園をリニューアルしています。今年2月には完成予定ですので、多くの市民の皆さんに利用していただきたいと思っています。今までのやまと公園は、薄暗くてちょっと怖い、物騒だという雰囲気があったのではないかと思えます。そういう公園から、小さいお子さんから高齢のかたまで、誰もが気軽に行けるような公園に生まれ変わらせています。私は多くの市民に利用されてこそ、公園には価値があると考えています。



進士五十八さん

農学博士(環境学・造園学)。福井県政策参与。東京農業大学名誉教授・元学長、福井県立大学名誉教授・前学長。日本学術会議委員で環境学委員長、日本造園学会長、日本都市計画学会長、日本生活学会長、国の自然再生専門家会議委員、社会資本整備審議会や国土審議会の特別委員ほか、東京都、同23区、長野県や福井県景観審議会、横浜市環境創造審議会会長等、歴任。緑のまちづくり学、アメニティデザイン、風景デザイン等著書多数。内閣みどりの学術賞、紫綬褒章受章。

**大木** 本当にありがたいといいますが、大和市に対してエールを送っていただいていると感じました。進士先生はいろいろな角度で全国を見て回り、本当のまちづくり、未来を見据えたまちづくりについて、テレビ、ラジオ、著作や講演で発信していらっしやいます。例えば公園や緑のまちづくり

**進士** 公園の魅力・価値にはいろんな視点があると思